



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、介護食品に関わる動きがこれまで以上に活発化した年でした。

まず、協議会でのトピックスをご紹介しますと、会員企業数が大きく増加したことがあげられます。昨年1年間で11社が新たに加入され68社となりました。食品業界におけるユニバーサルデザインフードへの関心が顕著に高まっていることがうかがえます。そして商品登録数および生産量・金額についても当然ながら増加しており、現在1,380アイテムが流通し、生産金額も130億円を超え、引き続き年率2ケタ増の勢いで成長を続けているところです。

さて、介護食品業界をとりまく主な状況についてご紹介します。農林水産省が、一昨年より「介護食品のあり方に関する検討会議」を開催していることはご承知のことと存じます。昨年は検討内容に大きな進展がみられ、11月11日「介護の日」を契機に「新しい介護食品」の愛称が「スマイルケア食」と決定いたしました。同省では、同日開催された「みんなで考える“介護食品”」シンポジウムにてこれを発表しましたが、以降、テレビや新聞等でも報道されたのは記憶に新しいところです。農林水産省のこの積極的な動きもあり、介護食品市場に参入する企業がさらに増えるものと思われま。

一方、介護食品が必要な方々へはまだまだ情報が届いていないことも現実です。先日、福岡県栄養士会が期間限定で運営を行った「栄養ラボ天神」を訪問する機会を得ましたが、ここでは、介護に際する食事に何をどう選ぶべきかにお困りの方々が、専任の管理栄養士に相談に来られていました。この事例は、情報が必要な方々からすると、まだまだ氷山の一角にすぎないと思います。我々をはじめ、食品メーカーが商品を次々と投入していくことで市場は拡がりを見せているところですが、農林水産省はじめ行政の方々には、ゼ

ひこのような利用者の皆様のお困りごとに対する受け皿となる制度の構築など、国内の社会システムの整備を早急をお願いしたいところです。

協議会は、今後ますます増加すると思われる利用者の皆様にとって、より良い環境が整備され、かつ業界がさらに発展していけるようイニシアチブをとりながら、会員企業とともに業界発展のために今後も努力していく所存です。

最後になりましたが、関係各位へ一層のご支援ご協力をお願いするとともに、本年が皆様にとって良い年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成27年元旦

日本介護食品協議会会長 森 佳光

【会議、催事等の予定】

1月11日(日)～13日(火) Winter Fancy Food Show 2015 (米国・サンフランシスコ)

1月28日(水)～29日(木) メディケアフーズ展2015 (東京ビッグサイト)

1月30日(金) 平成26年度事業進捗状況報告会 (キューピー(株))

【UDF 商品登録状況 (1,383品目・11月末現在)】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とりみ調整	合計
乾燥食品	0	0	10	0	81	91
冷凍食品	179	116	502	13	0	810
常温食品	101	102	181	97	1	482
合計	280	218	693	110	82	1,383

【会員の異動 (11月)】

加入3社 (株)ふくなお、マルコメ(株)、森永乳業(株) 計68社 (11月末現在)。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松山下町10-2

翔和神田ビル3階

(公社)日本缶詰びん詰レトルト食品協会内

TEL 03-5256-4801

FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>